

3年生の指導内容

3年生では，論理的思考の育成，情報社会の理解，問題解決への応用の力を育成することが中心となります。

思考と創造 単元「論理的に理解しよう」

8 時間

学校や家庭のあらゆる生活において触れるメディアの情報が一方的に処理・加工されて伝えられていること知り，情報の本質が明確でない場合があることを理解しました。新聞など多様なメディアを用いて，周りにあるいろいろな情報に目を奪われずに，本当に知るべき情報を見抜く力がまず身につけることができました。論理的に情報を理解することで，筋道を明らかにして物事の本質に至る思考を身に付ける重要性を理解し，溢れる情報の中で本当に必要となる情報を見抜く力が必要であることを理解しました。



思考と創造 単元「論理的に表現しよう」

8 時間

発信される情報を見つめ，その中で本当に伝えられるべき内容はどのようなものなのか，論理的に思考して表現することで，相手に自分の考えをはっきりと伝えことを体験しました。本当に必要な情報を選択し，論理的な思考に目を向け，意識し，思考・発想のためにできるよう多様なメディアで表現しました。文章を論理的に理解してまとめて表現する活動，相手に明確に伝わる物語を思考する活動，4コマ漫画など限定的な表現で自分の考えを伝える活動などを通して，論理性のある表現活動の重要性を理解しました。



情報社会 単元「情報の本質」

5 時間

情報が複雑になる一方で，極度に単純化された情報が存在することに目を向け，その存在意義について考えました。単純であっても複雑な情報を伝えることを知り，情報のエントロピーなどの概念について考えました。学校や道路など身近にあるピクトグラフなどの簡素化された情報を意識し，伝えられる情報の本質がどこにあるのかを探り，発想や情報を見つめる際の着眼点の重要性を理解しました。そして，普段意識していなかった情報への気づきへとつなげていくことができました。



情報社会 単元「情報と経済・犯罪」

5 時間

社会の情報化が進んでいることによって自分がどのような影響を受けることになるのか，身近にある多様なメディアから体験的に理解することができました。キャッシュカードやクレジットカードなど情報を記憶するカードの性質や利便性，危険性を学習し，会員カードなど自分たち普段使うものにもそのシステムが応用されていることを実感することができました。情報を集積することが多くの経済的なメリットを生じさせることや，情報の漏えいなどの安全面にデメリットが存在することを学びました。



情報社会 単元「これからの情報社会」

5 時間

μチップなど最先端のメディアの存在，その機能や利便性，可能性を体験することによって，卒業を間近に控えた状況で情報社会について意識を向けることができるようになりました。メディアの発達やユビキタス社会の到来で想定される状況について，資料からの情報を分析したり，様々な意見を交流することでメリットとデメリット，自分たちが将来どのような社会で生活していくのか，何をすることができるのか，広い視野を持って建設的なビジョンを描くことができました。



